

## 川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 平成30年度第2回 グループディスカッションの実施について

### 1 目的とねらい

本年度、川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、12名の委員による運営委員会を立ち上げ、地域包括ケアシステムの第2段階の展開に向けて、取組を推進しております。

今回は、平成30年度の第2回でして、グループディスカッションを行い、意見交換による多様な参加者との対話を通じて地域での連携の可能性を模索することをめざしています。本グループディスカッションは、今後、連絡協議会の参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として、地域で活躍いただくために重要と考えています。

そこで、本グループディスカッションについては、運営委員メンバーを中心に、参加者が交流するグループディスカッションと位置づけ、川崎市職員や関係機関のサポートのもとで実施していくこととしたいと考えます。

### 2 実施の考え方

本グループディスカッションの考え方は次の通りとします。

#### ① 地域包括ケアシステムに対する「考え方」や「意見」を収斂させる

自らが地域包括ケアシステムの担い手と意識できるよう、地域包括ケアシステムのシンボルの「植木鉢の図」などを用いて「考え方」や「意見」を収斂させていく。

#### ② 参加者による「全員参加型」をめざす

事業者、企業、大学、住民団体、住民など、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合いやすい雰囲気を醸成する。



## 4 実施方法

### (1) テーマ

「地域包括ケアのために、やっていること」「地域包括ケアシステム構築に向けて、できること」

### (2) 実施手法

グループディスカッションでの話し合いはKJ法によりまとめ、最後には2～3グループ、話し合いの結果を発表していただく。

### (3) グループニング

10名程度のグループに分ける。

各グループにはできるだけ、関係機関、専門職団体、企業、地域団体、大学、住民等が混合するように構成している。できるだけ地域性を考慮したグループニングを行った。

### (4) ファシリテーター・記録

全体の進行役は行政が担い、各テーブルに、運営委員の皆さんが1名以上配置され、グループ・ファシリテーターを担当していただく。グループ・ファシリテーターの補佐役として、各区の地域みまもり支援センター担当部長等が席にいる。また、委託先事業者スタッフが、グループごとに作業補助者としている。

### (5) タイムテーブル

3頁のとおり

### (6) まとめ方

出された意見は、グループごとにまとめ、後日、報告にとりまとめる。

グループディスカッション終了時に参加者にアンケートを配り、参加した感想や懇談会での話されなかった思いを書いていただく。

#### 【第1回連絡協議会のアンケートでの主な意見】

##### (やっていること)

声かけ／地域課題に関する関係機関との意見交換／認知症サポーター養成講座／  
認知症カフェへの協力／多世代の居場所づくり／住民への意識啓発／講座の開催／  
高齢者の見守り活動／ゴミ拾い／ニーズに応じた相談窓口の紹介／ 等

##### (できること)

まちのイベントへの参加／閉じこもっている人の社会参加の支援／  
学生が地域に出て活躍できる場づくりの支援／ 等

## ＜タイムテーブル＞

	内 容
18:00～	<b>市長挨拶</b>
18:03～ 18:13 (10分)	<b>川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況</b> 「川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組」 (説明者) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 鹿島 智
18:13～ 18:25 (12分)	<b>川崎市内での活動報告（麻生区）</b> 「ポプラ・ささえあいの活動紹介」 (発表者) 「ポプラ・ささえあい」ボランティア 萩生和成氏、新井フサ子氏
18:25～ 18:30 (5分)	<b>グループディスカッション全体の流れの説明</b> 全体の流れ、グループディスカッションのルールについて説明。 (説明者・進行役) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室室長 宮脇 護
18:30～ 18:40 (10分)	<b>自己紹介・アイスブレイク</b> 自己紹介には、「私がやっている健康法」のテーマも含めて、1人45秒程度でお話しいただく。
18:40～ 18:50 (10分)	<b>個人ワーク</b> 青と赤の付箋紙に、「地域包括ケアのためにやっていること」(青)、「地域包括ケアシステムの構築に向けて、できること」(赤)を書き込む。(1人合計3枚以上)
18:50～ 19:15 (25分)	<b>グループディスカッション（個人ワーク発表等）</b> 一人ひとりが、付箋紙に記載の内容を説明しながら、それぞれ手前の模造紙に貼っていく。近い内容のものは近くに貼る。その後、グループごとのディスカッション。
19:15～ 19:25 (10分)	<b>報告</b> 1グループ120秒を目途に、時間に応じて、2～3グループに報告していただく。
19:25～ 19:30 (5分)	<b>全体講評</b> 座長の田中滋先生（埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授）から講評をいただく。 <b>閉会・今後の予定について（アンケートへの記入）</b>

○ ポストイットのイメージ

